



# 第1回

## 県立大学の設置・拡充に関する検討委員会

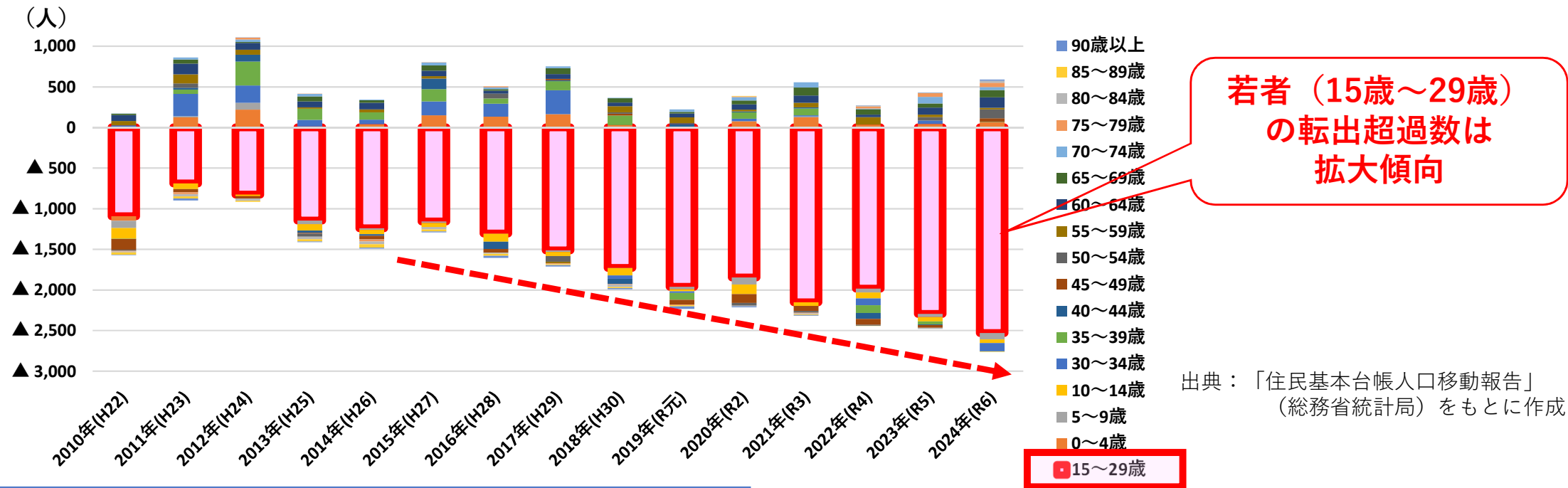
### 説明資料

令和7年7月25日  
香川県政策部

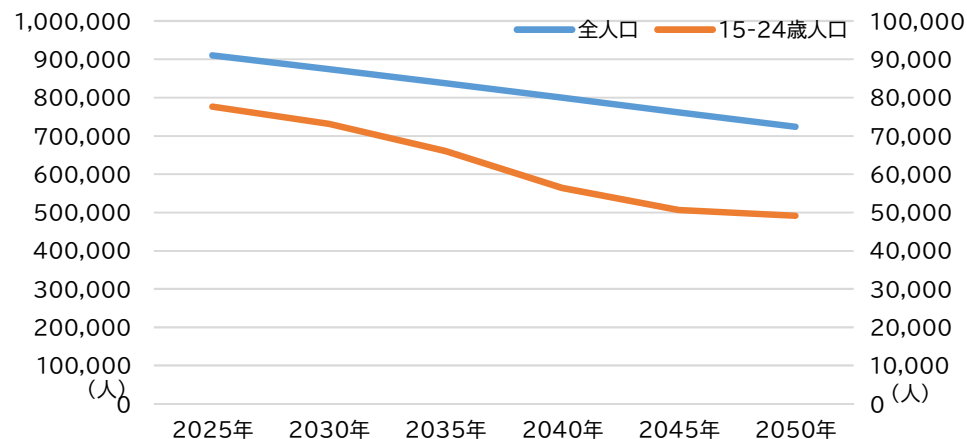
# 1 本県における人口減少・若者の県外転出の状況

若者を含む人口減少が進行する中で、さらに若者の県外流出が拡大している危機的状況

## ① 香川県の年齢別の転出入(日本人)の推移(5歳年齢階級別)



## ② 香川県の将来人口推計

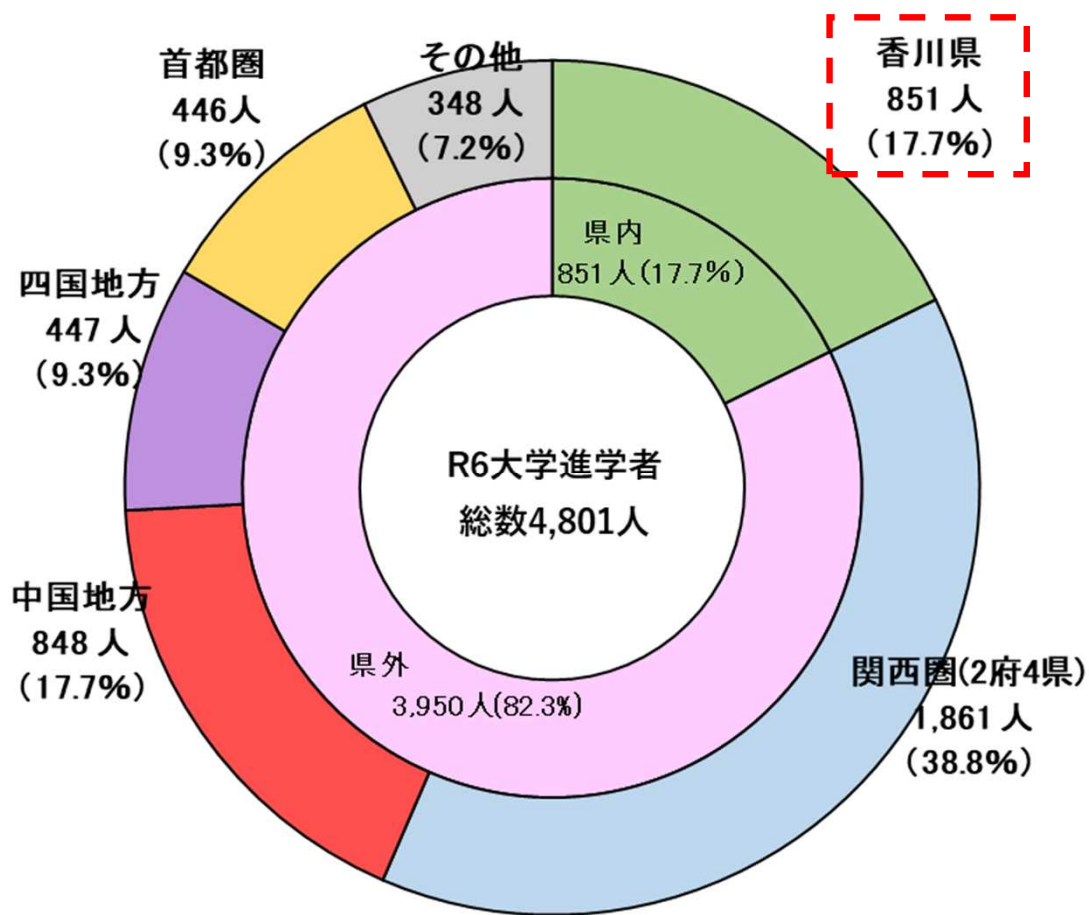


**【2050年の推計】**  
全人口：約72万人(対2025年：79.5%)  
15-24歳：約5万人(対2025年：63.3%)

# 1 本県における人口減少・若者の県外転出の状況（続き）

## ③ 県内高校卒業者の大学進学先・出身地/大学進学先ごとの就職先の割合

県内大学進学率  
17.7%  
全国ワースト4位



県外大学に進学した  
県出身者の7割超は県外で就職

※R5年度の状況

| 出身地 | 大学等進学先 | 就職先 | 割合    |
|-----|--------|-----|-------|
| 県内  | 県外     | 県内  | 28.6% |
|     |        | 県外  | 71.4% |
|     | 県内     | 県内  | 72.9% |
|     |        | 県外  | 27.1% |
| 県外  | 県内     | 県内  | 16.6% |
|     |        | 県外  | 83.4% |

県内大学に進学した  
県出身者は7割超が県内就職

出典:学校基本調査及び県地域活力推進課によるアンケート調査

## 2 若者の県内定着に向けた県のこれまでの主な取り組み

### 教育分野

- 郷土に誇りや親しみを持ってもらうためのふるさと教育
- 魅力ある県内企業を知ってもらうための取り組み
  - ・ 中学校における職場体験学習
  - ・ 高校生向けキャリア教育の充実



ふるさとイベント  
Zutt Mottふるさとの様子



志度高校でのインターンシップ  
成果発表会の様子

### 産業分野

- 若者が魅力に感じる企業誘致の推進
- スタートアップ企業への支援
- 県内企業のPR
  - ・ 県広報誌による県内ものづくり企業のPR
  - ・ 地元企業紹介冊子の配布
  - ・ 優れた取り組みを行う県内企業の積極的な顕彰



かがわ企業ガイド

## 2 若者の県内定着に向けた県のこれまでの主な取組み（続き）

### 就職分野

- 県内企業と県内外学生とのマッチング機会の創出
  - ・大学生等を対象とした就職イベントや企業見学会の開催
  - ・県外に進学した県出身学生と県内企業若手社員（ロールモデル）との交流会の開催
- 本県で就職する学生を応援するための奨学金返還支援
  - ・県内で居住、就職した場合、返還減免を行う
  - ・医師、看護師、保育士を目指す者に特化した奨学金事業の実施

### その他分野

- 「大学・地域共創プラットフォーム香川」を通じた、県内大学等への進学及び県内定着の取組み



産学官連携交流会  
なんがでっきょんな香川の様子

### 3 県を担う長期的な人材確保について

従来の施策だけでは若者の流出拡大を抑えられていない  
《新たな施策の実施が不可欠》

①

県内大学等との  
一層の連携強化



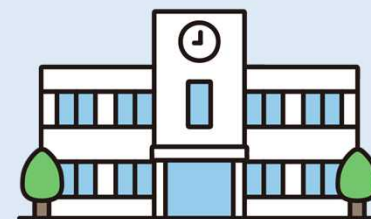
②

ふるさと教育や  
本県産業の県民へのPR等の  
一層の推進



③

県立大学の設置・拡充  
に関する検討



若者の県内定着の新たな流れを創り出す

## 4 高校生・保護者向けアンケート調査の実施状況

### 1 調査対象

#### ①高校生向け

県内全43高校（公立・私立） 全日制、定時制、通信制課程の生徒（全学年）

※生徒数：24,520人（R7.5.1現在の数値）（回答数 9,911人 回答率40.4%）

#### ②保護者向け 上記①の生徒の保護者（回答数 5,192人 回答率21.2%）

### 2 実施期間

R7年6月9日（月）～7月18日（金）（約1ヶ月間）

### 3 実施方法

「香川県電子申請・届出システム」のアンケート機能により実施

### 4 質問内容

☐ 属性（高校名、学科、学年、性別）

☐ 質問（計9問）

①卒業後の進路の希望（学校種別、就職など） ②進学を希望する地域

③進学を希望する学校の設置者 ④進学を希望する学部、学科等

⑤進路を決めるにあたって重要視すること

⑥県内大学等がどうであったら県内進学したいか

⑦新たな県立大学がどうであったら進学先の選択肢として考えるか

⑧大学卒業後に就きたい職業 ⑨将来的に就職したい地域

## 5 県内企業へのヒアリング調査の実施状況

- 5月下旬から、企業における人手不足等の実態とともに、県立大学の設置・拡充に関する考え等を把握するためのヒアリング調査を実施。（7月25日現在 製造業、情報通信、サービス業、インフラ事業者等 計12社からヒアリング）  
※より多くの企業のニーズを把握するため、追加でアンケート調査の実施も予定。

### 主なヒアリング項目

- 人手不足について  
充足状況／新卒採用の状況／求める人材／人手不足の要因や今後の見通し など
- 県立大学の設置・拡充について  
人手不足への効果／輩出して欲しい人材 など

### ヒアリング企業の主なご意見

#### 人手不足について

- ・少子化で人材獲得競争が激化している
- ・職種を問わず全般的に厳しい
- ・特に製造現場では技術系職種が不足している
- ・今後は人材確保がより厳しくなる

#### 県立大学の設置・拡充について

- ・人手不足や採用難への効果を期待する
- ・理系学部（機械や電気等の工学系）を望む
- ・公立大という選択肢が増えるのは良い
- ・既存県内大学との重なりは出てくる

## 6 県内大学等からのご意見

○県内の大学等からは、県立大学の設置・拡充の検討を進めていくことについて、次のようなご意見をいただいている。

### 県立大学の設置・拡充について

- ・ 県立大学の設置や拡充は、既存の県内大学の運営に直接影響がある。
- ・ 既存大学と競合しないことが大切である。
- ・ 県立大学で県内進学者を一定数確保しても、既存県内大学の進学者数が減少するのでは意味がない。県全体でプラスになることが必要。
- ・ 県外からも進学してもらえるような魅力的な大学にしなければならない。
- ・ 大学の設置・拡充には多額の費用がかかる。県内大学に進学する学生の奨学金を充実させるなどの方がコストパフォーマンスが良いのではないか。
- ・ 学部・学科の重複を避けて欲しい。
- ・ 理系の大学の場合は専門性が高くなり、都会の大企業に流出する確率が高くなる。

## 6 県内大学等からのご意見（続き）

### 大学進学に対する意識について

- ・ 県内の学生や保護者には、勉強を熱心にして関西・関東の優秀な大学に行くべきという考えが根強いのではないか。それが県外流出の要因ではないか。
- ・ 小・中・高の教育において、地元で進学したり、働くことも意識できるような取組みも必要ではないか。

### 卒業後の就職先について

- ・ 県立大学を作ったからと言うだけで、県内就職や定着が進むとは限らない。併せてしっかり県内定着の取組みをする必要がある。
- ・ 地方と都会の給料の差も人口移動の一因ではないか。香川県の中で給料をある程度もらえる産業、企業を育成していかなければならない。
- ・ 18歳の若者を確保しても22歳で流出していくのは問題である。都会に負けない香川県を作ってもらいたい。

### 既存の県内大学等との連携などについて

- ・ お互い切磋琢磨して県内進学率を上げることが重要である。
- ・ 既存の大学等の魅力を高める取組みへの支援も検討してほしい。
- ・ 教員確保やサークル活動などは連携が可能である。
- ・ 県の考える大学像を早く示してほしい。

## 7 検討の進め方や主な論点など

### ○検討目的

人口が減少し、将来を担う人材が流出している危機的状況のなかで、県内進学を選択肢の増加や、地域産業を担う人材の育成などの観点から、若者の県内定着を図る有効な対策のひとつとして、県立大学の設置・拡充に関する検討を行う。

### ○検討の進め方

- ・ 高校生、保護者、企業のニーズや、県内大学等の意見などを踏まえ、幅広い観点から議論。
- ・ 高校生、企業のニーズなどの分析や、今後の検討委員会での議論も踏まえ、仮に県立大学の設置・拡充を行う場合に候補となる大学像（下記）についても、お示しする予定。
- ・ 検討にあたっての主な論点としては、次ページのとおり。

#### 仮に設置・拡充を行う場合に候補となる大学像の構成要素

- ・ 育成する人材像
- ・ 教育内容（学部・学科）
- ・ 規模（入学定員）
- ・ 教員、施設・設備
- ・ 新たな大学の設置、もしくは現在の県立大学の拡充（学部の新設など）
- ・ その他、必要な事項

## 7 検討の進め方や主な論点など（続き）

### ○主な論点

#### ○論点1 県立大学などの高等教育機関で育成すべき人材

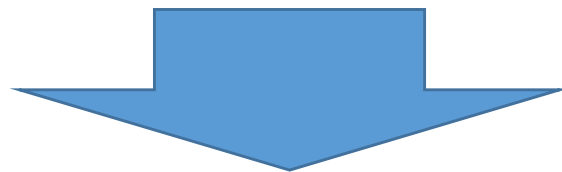
県内の産業活動や社会活動を担う人材として、県立大学などの高等教育機関で育成することが求められる人材はどのような人材か。

#### ○論点2 県内や近県等の大学との役割分担

これまで県内の産業を支える人材を輩出してきた県内の大学等や、近県の大学等の機能や役割分担を踏まえた上で、県立大学がどのような役割を果たしていけるか。

#### ○論点3 費用対効果

県立大学を設置・拡充することで発生するコスト（イニシャル・ランニング）に対して、十分な効果が得られるのか。また、地域に与える影響はどうか。



**県立大学の設置・拡充の是非を含む在り方の検討**

## 8 今後の当面の予定

### (秋頃) 第2回検討委員会

高校生、保護者へのアンケート調査、企業ヒアリング等によるニーズ分析結果や、県内大学等の意見などを踏まえて議論

### (冬頃) 第3回検討委員会

第2回検討委員会での議論を踏まえて議論